

ゆうゆうだより

発行日
平成十六年
五月三十一日
第三十七号

富山県小矢部市島三三二
医療法人 社団 啓愛会
介護老人保健施設 ゆうゆうハウス
TEL(〇七六六)六七 八〇〇八
FAX(〇七六六)六七 八〇〇二

【花祭り開催】

～お釈迦様の誕生祝つ～

四月十四日午後二時から二階多目的ホールにおいてお釈迦様の誕生を祝う花祭りが行われました。一、二階の利用者とデイサービスの利用者が大勢参加されました。まず順向寺の平野信教住職がお経を読まれると利用者の皆さんは手を合わせて聞いたり、一緒になって読んだりされていました。



次に浄教寺の立川住職の説法を聞きまし
た。住職は花祭りの由来を教えてください
ました。
花祭りはお釈迦様の誕生日です。お釈
迦様は誕生のとき七歩あるいて「天上天
下唯我独尊」と発せられ天と地を指差し
たといわれています。「人生の正しい姿
を見つめて、まことの道を進もう」とい

う決意の表れだそうです。誕生に際して
空から甘露の雨が降り辺りに香気が漂い
花びらが舞って四天王、天人などが降り
てきて祝福したとされています。花祭り
のときには花御堂の中に天と地を指差し
た誕生仏を祭り、それに甘茶を注ぎます
が、甘露の雨をあらわしたものです。
最後に恩徳讃を合唱して花祭りは終了
しましたが、各階に戻られる前にお釈迦
様の立像の前に甘茶をかけてお参りをさ
れました。花御堂の前には長い列ができ
たくさんの方が参っていかれました。
当日の進行、誘導にはビハラの皆さん
にお手伝い頂いてスムーズに進みまし
た。利用者の皆さんに感想を聞くと、「あ
りがたかった」とか「お参りできてよか
った」という声が聞かれました。三時
のおやつには花びらを型取った和菓子と甘
茶が出され皆さんとてもおいしそうに食
べていらっしやいました。

【四月の催し】

津軽三味線と誕生会の集いが四月二十一日
(水)にありました。鍋谷先生は迫力満点の
曲弾きと民謡を、草加様は澄みきった唄声と
三味線を披露されました。若手の中山様は駅
の地下道でパフォーマンスをし、大会に向け
て腕を磨いておられるそうです。すばらしい
三味線の演奏と七色の声に、利用者の方々も
手拍子をしながらかきほれておられました。
唄の合間のおしゃべりは、ユーモアたっぷり
で、笑い転げる方も大勢おられました。



【五月の催し】

浅井企画芸能と誕生会
が五月十二日(水)にあり
ました。炎の中から鳩が飛
びだすマジックに目を丸
くし、旅役者の衣装での唄
や踊りにウットリされま
した。懐メロの演奏に、皆
様も一緒に歌われ楽しい
ひと時を過ごしました。



【バスハイクでお花見へ行きました】

四月七日に利用者六名と福岡町の岸渡川・
市内の城山公園へお花見に行ってきました。
桜は満開で利用者の方は「桜のトンネルを
通っているようできれいだわ」とたいへん感
動しておられました。
岸渡川では二人の方がゆうゆう号から降り
られ、ベンチに腰を下ろししばらくの間、春
風を感じながら桜を直に触られていました。
城山公園までの移動中、車内では皆さんで
何曲か歌を笑い笑顔満開で職員も仕事を忘れ
るくらいに楽しませていただきました。
今回行かれた利用者の方々
はたいへん喜ばれていた様
子でした。



使いやすい道具は作る意欲を誘うし

手間のかからない食材を選べば大丈夫

〜食べることは大切〜

管理栄養士 上坂優美子

年を取ると億劫になって食事作りは面倒で気が重いですね。若い人でも三度の食事作りは気がのらないこともあります。お年寄りの中にはますます料理を作らなくなったという人がおられるようです。その理由は、「台所で作業がすることが疲れる、献立を考えるのが面倒、作る気になれない」と言われます。

皮をむく、切るという手間は、手指の力が弱くなると思意外に負担になります。これまで包丁一つで多様な切り方をこなしてきた高齢者は、なかなか新しい道具を受け入れられないかもしれません。長年使い込んだ重いフライパン・鍋は使いにくくなり、指の動きがこわばると菜箸の作業もしにくくなります。最近は一ドブロセッター、スライサーセットなどを使いこなすとも早く楽に作業ができます。加齢は、いろいろなことに変化が現れ、それに応じて軽いもの、使いやすいもの、力をかけなくて済むものに代えることで、料理への意欲もわいてくるかと思えます。

New フェイス紹介



名前 竹田 佳菜恵

職種 作業療法士

好きな言葉

真心

働き始めて、早二ヶ月が過ぎました。少しずつ仕事の雰囲気や流れに慣れてきた気がします。社会人となって臨床の場に出ると、やはり学生の時の気持ちとは全く違ってあり、毎日学ぶこと・考えさせられることがたくさんあります。全てがまだまだ手探りの状態ですが、これまで学んできたことを活かし、そしてこれからも多くの知識と技術を身につけて、作業療法士として自分のやるべきことを考えて、利用者みなさんのお役に立てるよう、精一杯頑張っていきたいと思えます。



名前 山本 隆宣

職種 介護職員

好きな言葉

安心

四月十六日より二階にて、介護職員として勤務することになりました。今までしてきたことは全く分野が違い、毎日が戸惑うことと連続で、あらためて大変さを感じています。今後は、早く施設の雰囲気にも慣れ、また、利用者の方から安心して接して頂けるようになりたいです。日々の関わりの中でも、嬉しいことや楽しいことなど色々なことを施設の方々と共有していけるような介護職員になれるように努力していきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。



名前 野崎 真季

職種 介護職員

好きな言葉

思いやり

私が介護の仕事に就きたいと思ったのは、ボランティアを通して高齢者と触れ合っていた中で、人の役に立ちたいと思ったのがきっかけです。短大を卒業し、現在、職員として業務を行ってみると、大変だなあと感じることも多いですが、早く自分のものとして確実に身につけられるよう頑張りたいと思えます。人と人の触れ合いの中から思いやりの心を育て、明るい笑顔で接し、利用者の方々からも信頼されるような職員を目指していきたく思います。

まずはこれから

作業療法士 平木裕子

起きること・・・それがリハビリテーションの第一歩です。



布団やベッドの上に座るのでも寝ているよりは、ずっと身体や心にいいことです。まずは起きてあげることから始めましょう。

行事予定 (6~8月)

6月 4日(金) はまなす(大正琴)

12日(水) あかねの会

7月 2日(金) お盆の法要

10日(土) セタコンサート

24日(土) 夏祭り

8月 6日(金) はまなす(大正琴)

11日(水) となみ野高校演奏会

変更になることがありますので

ご了承ください。

編集後記

新年度が始まり早二ヶ月が過ぎました。施設でも新しい顔の職員や利用者の方々との生活がスタートし、毎日賑やかに過ごしています。「ゆうゆうだより」も心機一転し、縦書きにしてみました。皆様の感想をまた職員へお聞かせください。

お知らせ

夏がじりじりと近づき、蒸し暑い日が多くなってきました。冷暖房が備わった施設内では気候を感じにくいかもしれませんが、そろそろ薄手の衣服を準備して下さい。また、衣服等の修繕及び記名(フルネーム)の再確認をお願いします。

氏名不明の衣服等が二階リネン庫内にあります。六月中に持ち主が現れない場合は処分させていただきます。

喫茶、毎週日曜開催中!

一、二階いずれも午前中開催

ご家族の皆様もぜひご来店ください!

玄関横喫茶コーナーに給茶機を設置しました。ご家族の方々他お気軽にご利用ください。